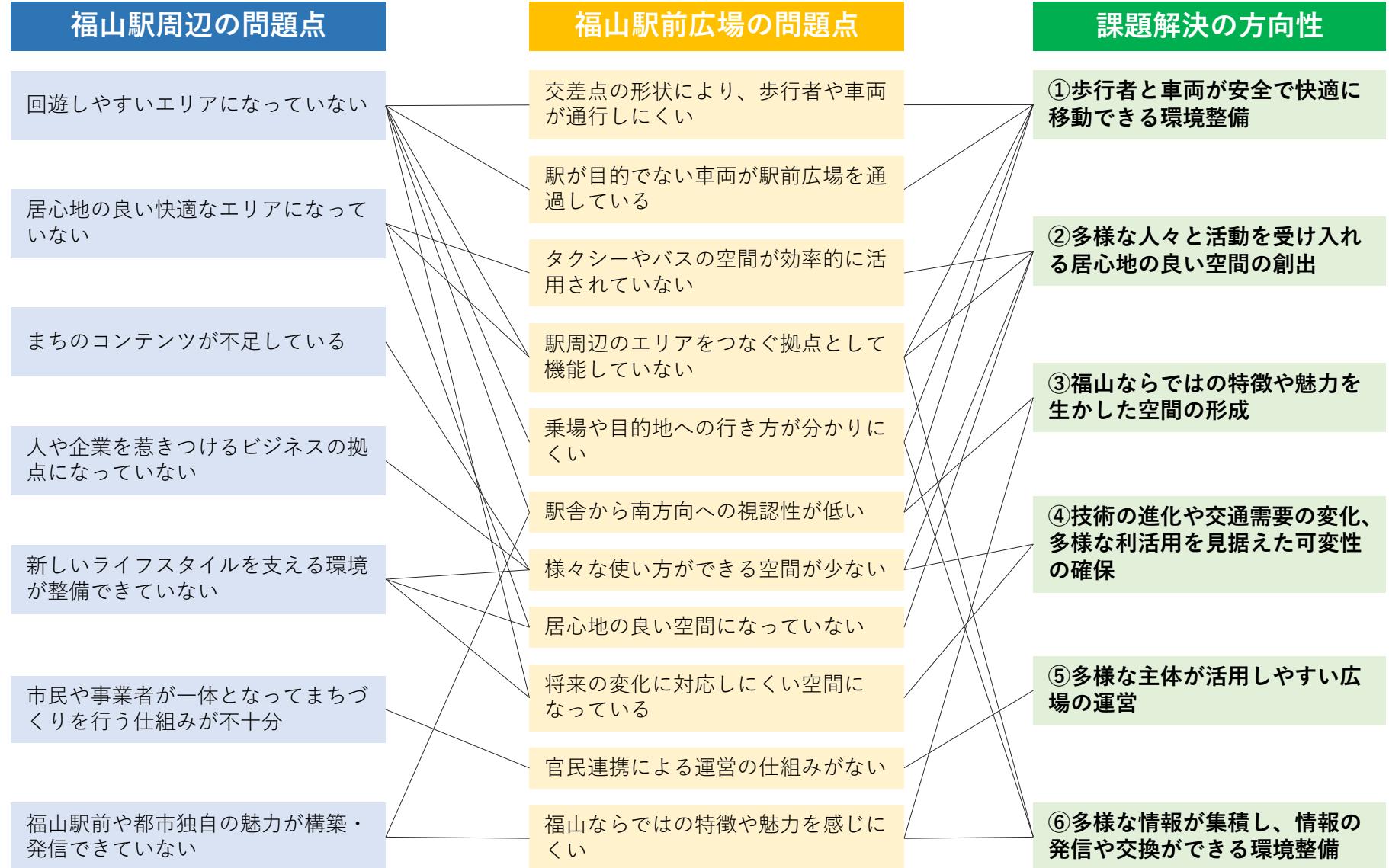


福山駅前広場整備基本方針と 先行整備案（たたき台）に取り入れた意見

2025年（令和7年）12月1日

福山市 企画財政局 福山駅周辺再生推進部 福山駅周辺再生推進課

福山駅前広場整備基本方針



福山駅前広場整備基本方針

次の6つの課題解決の方向性に沿って、駅前広場整備の計画を検討します。

課題解決の方向性

①	歩行者と車両が安全で快適に移動できる環境整備	駅前広場内だけで考えるのではなく、駅周辺のエリアと一体的に考えながら、駅周辺のエリアとの連続性を高める環境整備を行うことによって、訪れた人々が歩いていても、運転していても、安全で快適に使える駅前広場をめざします。
②	多様な人々と活動を受け入れる居心地の良い空間の創出	国内外から多様な人々を受け入れることができる寛容性と多様性に満ちた空間づくりを行うことにより、駅前広場が乗継ぎの場としてだけではなく、一人でゆっくりと過ごしたり、家族や友人、恋人などと過ごし、交流できる居場所になることで、訪れた人々が愛着を感じる駅前広場をめざします。
③	福山ならではの特徴や魅力を生かした空間の形成	ばらなど、福山ならではの地域資源を生かした空間づくりや福山城の遺構を生かした空間づくりにより、市民が誇りに思える駅前広場をめざします。
④	技術の進化や交通需要の変化、多様な利活用を見据えた可変性の確保	デジタルテクノロジーなどの技術の進化や将来の交通需要の変化、駅前広場の多様な利活用を見据え、柔軟に対応できる空間づくりを行うことにより、訪れた人々が便利に使える駅前広場をめざします。
⑤	多様な主体が活用しやすい広場の運営	官民が連携して駅周辺のエリア価値を高めていく広場の運営の仕組みづくりを行い、多様な主体が活用しやすく、訪れた人々が魅力的に感じる駅前広場をめざします。
⑥	多様な情報が集積し、情報の発信や交換ができる環境整備	多様な情報が駅前広場や駅周辺に集まり、発信されることによって、訪れた人々が駅周辺や周辺地域の魅力や各種サービスの情報を得たり、訪れた人々の出会いや交流によって、情報が交換されるような情報のハブ機能を担う駅前広場をめざします。

先行整備案（たたき台）に取り入れた意見

先行整備案（たたき台）の作成にあたり、福山駅前広場協議会やふくまちヒロバラボでの意見のほか、各団体や関係する事業者へ説明・意見聴取を行った。

○福山駅前広場協議会

第11回福山駅前広場協議会（2025年9月9日）

○ふくまちヒロバラボ

第1回（2025年10月5日）

第2回（2025年10月26日）

第3回（2025年11月8日）

○各団体、関係する事業者

福山商工会議所

福山青年会議所

福山市自治会連合会

連合広島東部地域協議会

福山市女性連絡協議会

福山市老人クラブ連合会

福山市商店街振興組合連合会

路線バス事業者（中国バス・鞆鉄道）

広島県タクシー協会東部支部

西日本旅客鉄道

広島県東部観光推進協議会

福山観光コンベンション協会

福山市PTA連合会

福山市身体障害者団体連合会

伏見町町内会

福山伏見町商店会

福山駅前商店会

宝町町内会

近隣事業者（天満屋、アイネスフクヤマ）

先行整備案（たたき台）に取り入れた意見

○路線バスについて

駅前広場の南側にコンパクトなバス乗降場を配置する

- 多くの利用者が目的とする南側エリアと直結する南口配置は極めて合理的。
- 現在の乗合バスターミナルを可能な限りコンパクトにすることを目標にし、一部のバス待機場はバス乗降場から可能な限り近くの駅前大通りに配置する。DXなどを活用することで、バス待機場と乗降場の間でスムーズな運行ができるれば、従来通り、バスターミナルを南側に配置することが可能。
- 駅前広場の南側にバス乗降場を配置する。
- 駅前広場でのタクシーとバスが占める広さが広いように感じる。これらを縮小して工夫できないかと思う。
- 交通結節は大事。より便利にしていくべきだと思うが、今のようにバスの待機場が大きく面積を占めているのは疑問。バスが来てすぐに乗り換えるような形にして、待機スペースは省く。
- ターミナルを縮小し空いたスペースに憩いの場を設ければよいのでは。
- 伏見町の北側にバス乗降場を配置するとバスの運行時間が伸びる。経費も余分にかかる。
- 運行に支障のない待機場の確保も課題。

さんすて福山の南側にバス乗降場を配置する

- 正面が交通の風景で占められ、全てが交通で埋まるという状況になっている。駅前広場だけで全てのアクセスを考えるのではなく、もう少し駅前空間を豊かにしながら、交通結節を最大化するために、駅への接続をさんすてまで広げてはどうか。
- 伏見町の北西にロータリーを配置して、さんすての南側にバス停を配置するパターンもある。
- 伏見町の北側にバス乗降場を整備する。
- 福山駅の特徴として、二重高架であると同時に駅舎がさんすてを含めて東西に長い。さんすても上手に利用してバスターミナルを生かせればと思う。さんすての中でバスを待つ快適性も見込める。
- 路線バス乗降場が伏見町の北側に配置されると荷捌きが出来なくなるから、荷捌きスペースの確保が必要。

交差点をコンパクトにする

- 現在は駅前の交差点が大きいので、歩いて行く際、南側への分断を生んでいる。バスの配置を考えるときに、駅前の交差点をまた大きくするのか、それともコンパクトにするのか。駅の中心、駅の目の前だけでなく、駅の周りに人が歩いて行けるウォーカブルな観点を欠かさず議論の中心に置いておきたい。

○タクシーについて

南から駅に来て、駅から南に向かえるようにする

- 西側にタクシーのロータリーを配置すれば、タクシーは南から南に帰ることもできる。
- 南から駅に来て、南に向かえるようにしてもらいたい。

○広場について

少しでも広い広場空間を確保する

- ・少しでも広い広場空間を確保して、福山市民が誇りに感じられるような駅前空間にほしい。同時に、駅前広場だけでなく、国道まで人が歩けるような広い空間を確保していただきたい。
- ・広場を人のために大きく使いたい。
- ・駅前広場のような限られた空間の場合、大きなイベントが行われていると広場が専有されて、ふらっと来た人の居場所が無くなるということが起こりやすい。しかし、広場が2つあれば、片方の広場でパブリックビューイングやライブなどの大きなイベントが行われていても、もう片方の芝生広場では家族連れがゴロゴロしながらライブを見れたり、マルシェを同時開催できたりする。
- ・（駅前広場の）手前側に、ベンチや机などを置いて、ぼーっと一休みしたり、学生が勉強したり、テイクアウトしたものを食べてのんびりして滞在するエリア。奥の方は広場としてイベントとかマルシェとかをするようなスペースとして使う。

東西南北に移動しやすくする

- ・東西南北へ迂回せずに行き来ができる。
- ・東西を行き来するのに、迂回をせずにまっすぐ行きやすい広場にしたい。

まちの第一印象を大事にする

- ・駅前に降り立った瞬間の第一印象を大事にしたい。便利だが無機質だと感じる。もっと遊び心だったり、デザイン性が欲しい。
- ・きれいなまち、福山を印象付けられる（福山だと分かる）広場にしてほしい。

福山城の遺構を生かした空間にする

- ・福山城がランドマークなので、城郭の中に駅があるという特徴を生かしてもらいたい。公園や水辺、大屋根、木陰、水盤など今まで協議会で議論してきたことを中心に広場を確立していかなければと思っている。
- ・地下に眠っている遺構のラインをきちんと地上に表現することによって、舟入の水辺空間やお堀の広さを広場に立つと認知できるような空間を造る。
- ・歴史を大切にしたいということで、福山城の石垣を残す。水辺はぜひお堀があった所に。福山城を感じられる一体的な整備がされればいい。
- ・福山城の遺構の表現や福山城とのつながりが大切。水辺でお堀を表現したり、北の文化施設に関連したイベントを南側でも行うような未来がいい。南北のつながりを大切に。
- ・福山らしさを出していくならお城をもっと活用してはどうか。

多様な使い方ができる広場にする

- ・イベントばかりではなく、日常も大事にしてほしい。
- ・夏の暑さや雨などの対策として、大屋根や木陰などを配置する。
- ・子連れの人にも集まってもらいたいというのもあって、芝生を触ってピクニックみたいに食事できる場所でもいいですし、簡単に遊べる遊具などもてきて欲しい。
- ・こどもを見ながら親たちが飲食ができるような空間。
- ・特に学生さんが10年後に思い出に残っていてほしいと思ったので、放課後に友達と食べながら話したり、色んな世代がそれぞれ好きなことが自由にできる場所。
- ・周辺企業のランチケーションをする場として利用。
- ・パブリックビューイングをすることで、広島のチームをみんなで応援して盛り上げる。
- ・人や情報など色々なものに出会える様な空間になってほしい。
- ・周辺地域の特産物とか、周辺地域の団体さんのポップアップストアを作ることで周辺地域の方との繋がりを生む。特産物を使ったイベントでも利用。
- ・周辺の魅力ある商店街などに人を流せるような掲示板やPRが毎時毎時おスメ情報が更新されるようなサイネージがあっても楽しい。
- ・実証実験で広場を利用した。景色が変わって良かった。駅前を変えていく方が良いと思う。
- ・広場ができただけでは人は来ないので、飲食など何か目的が必要。
- ・災害時の一時避難スペースになるような広いスペースを確保。
- ・駅前の治安としては防犯であるとか、自然災害に対する防災、緑化に対するアフターケアなどを含めた手入れの問題など、こうしたものも重要な視点。